

まなび部会

伝承料理講習会「かしわ餅・さくら餅をつくろう」を実施



和気あいあいと楽しく実習

6月2日、生野保健センターにて、第4回目となる伝承料理講習会を実施しました。

今回の講習会は地域の先輩から「かしわ餅・さくら餅」の作り方を教えていただきました。端午の節句に合わせ、子どもたちの健やかな成長を祈って神様に供えられてきたかしわ餅、近年は市販のものを買って済ませることが多くなりました。

34名の参加者が、レシピに添って真剣な表情で作っていきましたが、同じレシピでも班によって出来上がり具合が微妙に違ったので、何回も経験を重ねコツを覚えることによって、よりおいしい餅が作れるということ学びました。

講習会の後、さっそく地域や家庭で作ったというお便りが寄せられ、大変うれしく思いました。次回の講習会は何にしましょうか。またご意見をお寄せください。



出来上がったさくら餅とかしわ餅

さくら餅のレシピ

材料（30個分）

- ・もち米 2.5合 ・赤色粉 耳かき半分 ・こし餡 500g ・砂糖 150～200g
- ・桜の葉（塩つけしたもの） 30枚 ・塩 少々

作り方

- 1 もち米を洗い、赤色粉を入れた水に4時間つける。（水は米より4センチほど上まで入れる。）
- 2 鍋に1の米を入れて、そのまま炊き、途中で煮立ってきたら2回くらい混ぜる。その後、火を止めて5分蒸らす。
- 3 2をザルに移し、水洗いしてぬめりをとる。
- 4 3を、蒸気の上がっている蒸し器で10分蒸す。
- 5 蒸している間に、こし餡を30等分して丸める。（30個の餡玉を作る。）
- 6 4の蒸しあがった米をはんざりにとり、砂糖と塩を混ぜ、冷めるまでうちわで扇ぎながら混ぜる。十分に冷めたら30個の餅を作る。
- 7 丸めておいた餡を、冷ました6の餅に入れ桜の葉に包む。



*かしわ餅のレシピは、いくの地域自治協議会事務局にお問い合わせください。

いくの地域自治協議会だより

～ロマンあふれ かがやくまち 生野～

第21号 2012年8月3日 発行

発行：いくの地域自治協議会

編集：いくの地域自治協議会広報委員会

毎日暑い日が続いています。今年の夏も電力不足が見込まれることから、『節電』に対する取組を更に進めることが求められています。会員の皆様には家庭や職場での節電への取り組みを進められていることと思います。

一人ひとりの取り組みは、なかなか効果として見えてきませんが、小さな取り組みが大きな成果となることと思います。私たちいくの地域自治協議会でも『節電』も含めた環境を守る取り組みを更に進めていかなければと思っております。

次代を担う子どもたちに、この生野の素晴らしい自然を残すためにも、日々の小さな実践が何より大切と感じています。暑さをしのぐ工夫をご家族で、また地域や職場で考え実行していただき、元気にこの夏も乗り切りましょう。

今月も各部会の活動の様子や取り組みをお知らせいたします。



地域づくりソフト事業の申請を受け付けています。



生野地域の活性化および交流を目的としたソフト事業を実施する団体に対して、事業にかかる経費の一部を補助費として助成しております。補助できる予算には限りがあり、また決定までに多少時間がかかりますので、ご希望や予定のある場合はお早めにご相談ください。

いくの地域自治協議会 TEL/FAX 679-4502 E-mail：ikuno-jichi@asago-net.jp
いくの地域自治協議会広報委員会 <http://asago-net.jp/users/ikuno-jichi>

みどり部会

ECO活動アンケート調査を実施

私たちは物資が豊かにある生活を当然のように送っています。しかし、大量に物を消費する生活で、近年、大気汚染やゴミ問題、さらには環境破壊などあらゆる問題が生じています。

豊かな自然に恵まれた生野の町を、これからも守り残していくためには、様々な取り組みが必要です。そこで、みどり部会では部会活動のテーマでもある「エコ活動」の参考とするため、市民の皆様へ環境に関する意識調査を実施いたしました。

市民の皆様の環境への考え方や日頃行っておられるエコ活動などを調べ、実際に皆様が環境づくりに対してどのように思っておられるのかを知るためアンケート調査には多くの方がご協力をいただきました。

現在、アンケート結果を集約、解析中です。後日改めて報告をさせていただきたいと考えております。アンケートにご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。

★アンケート調査の概要

調査期間	：	平成24年2月～3月	
調査対象	：	各区区長ほか区役員、自治協議会部会員	総数220名
有効回答数	：	149名（男性79名、女性70名）	
年齢	：	30歳以下	1名
		31歳から50歳	30名
		51歳から65歳	81名
		66歳以上	37名

生野きれいな川まつり



今年はほとんどの子供たちが釣ることができました。

最後に子供たちに大人気のコイトリを楽しんでもらい、無事終了しました。

御協力いただいたボランティアの方々に深く感謝申し上げます。

(13時～14時30分終了)

水生動物の絵を描きました。



今年も、7月21日の夏真っ盛りの中、生野きれいな川まつりが予定通り実施することができました。

小学生の方を中心に20名、御父兄を含めると30名の参加となりました。

今回は残念ながら、散発的な集中豪雨の為、川が増水しメインイベントの市川の生き物さがしと観察が中止となりましたが、川の生物の観察図を参考にし、生野夏物語（森垣の灯籠流し）に使う灯籠用の絵を、各自描いていただきました。

花いっぱい運動

生野町には観光客の方々がたくさんお見えになります。その方々にちょっとした心のおもてなしをと、5種類の花々を寄せ植えにして軒先に飾って頂こうと計画をしました。

今回は、口銀谷地区を対象に「花いっぱい運動」の参加を募集致しましたところ、100軒を超える申し込みがあり6月17日に部会員で寄せ植えを行いました。18日には申し込みをして頂きましたお宅に、部会員が配達をし、大変喜ばれました。同じ花を至る所で見られるのもチョット良いものかと思います。



今回は「いくの地域自治協議会」会員の皆様を対象に「花いっぱい運動」に参加して頂こうと計画したいと思いますので、宜しくご協力くださいますよう御願いたします。

各お宅に配られた寄せ植えのプランター



部会員による寄せ植え作業

いきいき部会

ポン菓子実演・販売

6月3日（日）新町河川公園まつりが行われ、いきいき部会ではポン菓子の実演と販売を行いました。

天候に恵まれ、自治協のぼり旗とポン菓子旗がはためく中、実演前から予約が入る盛況ぶりで、カレー味、生姜味など予定していた100袋は完売しました。



また、7月9日（金）朝来更生保護女性会生野支部の依頼を受け、生野こども園にてポン菓子の実演を行いました。

園児70人が見守る中、皆様にお手伝いを頂きながら、砂糖味のなつかしいポン菓子を作り皆様にほおばっていただきました。

生野こども園でのポン菓子実演

